

2026年5月13日（水）

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 Autonomy HD
7A Drones Co., Ltd.

**AutonomyHD と台湾 7A Drones が日台連携によるドローン産業
サプライチェーンの共同構築に向け戦略的パートナーシップに合意**

— 台湾製ドローン機体・動力源・バッテリー、モーター、ジンバル×
日本製フライトコントローラー・GCS による次世代自律型ドローンの産業化を加速 —



7A Drones 許新勝 CEO（左）、Autonomy Holdings 野波健蔵 CEO（右）



最前列左から、亞洲無人機 AI 創新応用研発中心 廖志偉 副組長、虎尾科技大学 劉禎氣 資深顧問、7A Drones 許新勝 CEO、嘉義県 翁章梁 知事、Autonomy HD 野波健蔵 CEO、HAMA 金田社長。

その他、Autonomy HD 稲葉久人 執行役員、經濟部航太産業発展推動小組 林哲賦 副組長、嘉義県経済発展所 李雅萍 署長、工業技術研究院 日本業務群 何佳娟 副國際長、中山科學研究院 航空研究所 陳俊宏 副所長、7A Drones 李俊銘 COO、7ADrones 王琇平 業務經理。

株式会社 AutonomyHD（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：野波健蔵、以下 Autonomy HD）と、台湾の大型ドローンメーカーである企業 7A Drones Co., Ltd.（本社：台湾嘉義県、代表取締役 CEO：許新勝、以下 7A Drones）は、両社が連携してドローン産業のサプライチェーンを共同で構築することを目的とした戦略的提携に合意しました。本提携では、台湾側が強みを有する機体構造、動力源、バッテリー等の供給と、日本側が強みを有するフライトコントローラー（FC）および地上管制システム（GCS）を組み合わせ、日台連携による次世代ドローンの産業化を共同で目指し、早期に社会実装を目指すものです。これにより、新たなドローンのサプライチェーンの構築と、信頼性・自律性・拡張性を兼ね備えたドローンの量産体制の実現に向けて協力して参ります。

■コメント

Autonomy HD 代表取締役 CEO 野波健蔵

ドローン産業は AI ドローンが活躍する時代を迎えて、新しいパラダイムシフトを迎えています。従来の小脳型ドローンから大脳型ドローンに進化して、一人のオペレータが数機か

ら数十機を飛行する、AI ドロンスウォーム飛行があらゆる分野で活躍する近未来がやってきます。このAI ドロンスウォーム飛行は高度な自律性、知能化、群制御アルゴリズムが実装されて初めて実現できる世界最先端技術です。AI ドロンスウォーム技術は、インフラ点検、物流、農業、測量、警備、災害対応等のあらゆるドローン産業を進化させて、高効率なエコシステムとして、これまでと比較にならないスピードで、飛躍的に社会実装されていきます。7A Drones Co.Ltd とこの新しい潮流の最先端を築きながら、日台連携のサプライチェーン構築により、この新しいパラダイムシフトをリードしていきます。

新樂飛無人機 (7A Drones Co., Ltd.) CEO Hsin-Sheng, Hsu (許新勝)

台湾と日本は、製造技術、精密加工、そして実践的な現場運用において高い相互補完性を有しており、今回の AutonomyHD との戦略的パートナーシップは、単なる企業間協力ではなく、次世代ドローン産業における日台連携モデルの重要な第一歩であると捉えております。7A Drones は、大型 UAV の設計・製造を中心に、物流、防災、医療輸送、インフラ関連分野において実運用を重ねてきました。特に長距離・大重量輸送を前提とした大型機体技術は、台湾市場のみならず、日本を含む国際市場からも高い関心を集めております。今回、AutonomyHD が持つ高度なフライトコントローラー、自律飛行技術、AI 群制御技術と、7A Drones の大型機体製造能力および台湾の機体や部品などのハードとソフトのサプライチェーンを組み合わせることで、高信頼性・高安全性を備えた次世代自律型ドローンの社会実装を加速できると確信しております。また近年、ドローン産業では安全保障の観点から、新たなサプライチェーンの構築が重要な課題となっています。私たちは、日本と台湾の技術連携を通じて、信頼性・透明性・持続性を備えた新たな国際ドローンサプライチェーンの構築を目指して参ります。今後は、災害対応、離島物流、インフラ点検、医療輸送など、社会課題解決に直結する分野を中心に、日台双方の技術力を融合し、アジア発の次世代ドローン産業モデルを世界へ発信して参ります。

《株式会社 AutonomyHD 概要》

設立	2022 年 1 月
代表者	代表取締役 CEO 野波健蔵
URL	https://www.autonomyhd.co.jp/index.html
所在地	東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 6 階
関連会社	株式会社 Autonomy (https://autonomyuav.co.jp/) 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 一般財団法人先端ロボティクス財団
事業内容	株式会社 Autonomy HD は、産業用ドローンの開発・販売を中心に、災害対応、インフラ点検、監視・警備など幅広い分野に向けたソリューション

	<p>ンを提供しています。現場で求められる実用性と安全性を重視し、用途に応じた機体設計、制御技術、運用システムの高度化を進めるとともに、次世代の運用技術に関する研究開発にも積極的に取り組んでいます。また、オープンソースに依存しない独自開発のオートパイロットを採用しており、高い信頼性と柔軟な機体制御の実現を目指しています。現在の主力製品は、Surveyor-1N（有線・無線切替式ドローン）であり、現場状況に応じて運用方式を切り替えられる柔軟性を備え、長時間運用や安定した情報収集が求められる現場に対応する機体として展開しています。</p>
--	--

《7A Drones Co., Ltd.（新樂飛無人機）概要》

設立	2018年
代表者	代表取締役 CEO 許新勝 (Hsin-Sheng, Hsu)
所在地	本社：台湾嘉義県
事業内容	<p>7A Drones Co., Ltd.（新樂飛無人機）は、2018年に設立された台湾の義美グループ傘下企業であり、大型 UAV（無人航空機）を中核として、各種 UAV の研究・開発および製造を行っており、農業、物流、防災、医療搬送など幅広い分野で活用されており、社会インフラ関連用途に向けた高性能ドローンソリューションの提供に注力しています。弊社では、台湾で唯一、25kg 超のマルチコプター型 UAV における型式認証を取得しており、航空局（CAA）の公式訓練機としても採用されています。また物流分野においては、中華郵政および交通部運輸研究所が主導するプロジェクトに参画し、150kg 級 UAV の特別型式認証を取得するなど、次世代物流モデルの実証において高い技術力と実績を有しています。弊社は、長距離・大重量輸送を前提とした機体設計力を中核的な強みとし、離島間物流、災害対応、インフラ関連用途など、高い信頼性が求められる分野での社会実装を軸に事業を展開しています。</p>

本件に関するお問い合わせ

株式会社 AutonomyHD

執行役員 Executive Officer 稲葉 久人 Hisato Inaba

Email: inaba@autonomyuav.com

<https://autonomyuav.co.jp/>

新樂飛無人機股份有限公司 (7A Drone Co., Ltd.)

業務經理 Sales Manager 王琇平 Karen Wang

Email: Karen.wang@7adrones.com

<https://7adrones.com/en>